

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年7月10日(17:00~17:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 日高 吉村 花島 辻内 小柳 久下 上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	人	人	7人

前回の改善計画
 利用開始時までに必要情報及びPC基礎データの入力を行えるように努める共に、知り得た情報を書面にて発信し情報共有を適切にできるようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 利用開始時に必要な情報は書面にて発信があります。また、即時に情報発信や職員間のコミュニケーションツールとしてラインワークの導入を行ない情報共有を行なうように取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	5			7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	4			7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6	1			7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	2			7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 利用開始前に事前面接を行ない、意向を聞きとり主治医意見書などを参考にして支援内容を調整しています。利用開始後も関わっていく中で本人の思いや要望を聞き取り支援につなげています。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 本人を支えるためご家族や介護の不安を受けとめようと情報の共有など努めているが緊急での即時対応時において各職員が情報について行けない場面や専門的な立場から本人の思いを受けとめながらの迅速な対応ができていないのか不安がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 利用開始時までに必要な基本情報をデータ化していくことに努めると共に知り得た情報をラインワークを活用して情報発信し、情報共有すると共に職員間のコミュニケーションを図っていけるように努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年8月29日(18:00~18:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 日高 吉村 花島 辻内 小柳 久下 上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	人	人	7人

前回の改善計画	対話等を通して「何がしたいのか」を感じられる感性を職員一人一人が身につけていけるようにしていけるようにしていくと共に、ご本人の希望が叶えられるように支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご利用者様との関わりや傾聴を心がけ「要望・希望」に対して職員間で情報共有し支援につなげています

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		7			7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7			7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		7			7
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		7			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 日々の申し送り、ラインワークや会議等で情報を共有しています。 対話から汲み取れる要望・目標は本人と一緒にサポートし、応えることができます。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 本人の「～したい」が家族の「～してほしい」と合致した場合等のすり合わせが難しいときがありました。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 対話等を通して「何がしたい」と感じられる感性を職員一人一人が身につけられるようにしていく。又面談等でご家族の意向を確認してご本人の希望が叶えられるように支援していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年8月29日(17:30~18:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 日高 吉村 花島 辻内 小柳 久下 上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	人	人	7人

前回の改善計画

日々の関わりと訪問や送迎時など細やかな部分にも視点を向け、ご利用者様の健康状態や心身機能、身体構造を把握して環境要因・個人要因等を考察し、活動参加へ向け支援を行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

日々の関わりと訪問や送迎時などで気づいた事などはすぐに職員間で共有し会議等で話し合い支援につなげています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		5	2		7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	5			7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		7			7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		7			7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		7			7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

訪問支援により、調理状況や健康状態等、食生活の状況把握をおこなっています。健康維持できるよう多職種会議等で情報を共有し、栄養管理・健康管理に努めています。排泄等の方法など創意工夫し、快適な生活が送れるように支援しています。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

支援が必要となる前の暮らし方は会議等で情報収集しているが、10個以上となると認知症等の症状により利用者全員分は把握することが出来ていません。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

1:1で話していく機会を持っていく共に、家族から情報を得ていく。訪問や送迎時など細やかな部分にも視点を向け、利用者の健康状態や心身機能・身体構造を把握して環境要因等を考察し、活動参加へ向け支援を行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年9月24日(17:00~17:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 日高 吉村 花島 辻内 小柳 久下 上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	4人	人	人	7人

前回の改善計画	地域サークルの活動機会の確保・ギャラリー作品展の開催等で活動を啓蒙していく。地域自治会会報への掲載や発行へ協力し、地域社会の一翼をになっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域サークルの活動やギャラリー作品展の開催等で活動を知ってもらうことが出来ています。地域自治会会報も掲載や発行へ協力し行えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		7			7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		7			7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		7			7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		5	2		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域資源を把握し地域とのつながりを維持することができるように家族や友人、知人、近隣住民の協力(声掛けや見守りや情報)連携を図りながら行なうことができています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
日々の業務をこなす中で利用者さんの居住地区が勝田台・八千代台地区以外の民生委員の方々と関わる機会も少なく、情報収集等においても上手くできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域サークルの活動機会の確保・作品展の開催を通して活動を知ってもらう 地域自治会会報への掲載、発行へ協力していく 地域資源の把握に努めリスト化をしていきます	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年9月24日(17:30~18:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 日高 吉村 花島 辻内 小柳 久下 上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	人	人	7人

前回の改善計画	記録ソフトを活用し個別の状況把握に努める。 朝の申し送りや会議により、一層円滑な情報共有ができるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	記録ソフトの活用・ラインワークによる職員間の情報共有により状況把握をしやすくし、朝の申し送りや会議を円滑にしてより詳細の情報共有を行なっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		5	2		7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		7			7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		7			7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		7			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 近隣の方の関わりをもち、新しい情報を得たり日々の変化に気づきかかりつけ医に相談・連携するなど本人の状態に合わせた柔軟な支援ができています。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域資源を詳しく満遍なく知らないの地域資源をどこまで活用できているかしっかりと把握できていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ブルーオーシャン(記録ソフト)・ラインワークを活用し円滑な情報共有をできるようにする。 朝の申し送り・会議により個別の状況把握に努める 地域資源の把握に努め、リスト化をしていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月8日(17:00~17:30)

6. 連携・協働

メンバー 日高 吉村 花島 辻内 小柳 久下 上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	1人	人	7人

前回の改善計画	自治会等や勝田台支会のイベントに積極的に参加し、小中学校などの吹奏楽コンサートに参加して地域の子供達とも交流していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の小学校へ訪問し交流することは出来なかったが地域のイベント(夏祭り・防災訓練・芸能フェスタ)等にご利用者さんと参加できました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		6	1		7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		6	1		7
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		6	1		7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		5	2		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 担当職員が医療機関とのカンファレンスに参加できています。地域のイベントに積極的に参加するとともに、自治会活動に協力し事業所に地域の方が訪れることが多くなってきた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の子供達と交流する機会がとれなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 自治会などの地域イベントに積極的に参加していく。小中学校のイベントは情報不足のところもあるので地域の方々から情報を得て参加していく
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月8日(17:30~18:00)

7. 運営

メンバー 日高 吉村 花島 辻内 小柳 久下 上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	3人	人	7人

前回の改善計画	自分の意見を伝えるステップに取り組む。 ① 根拠を持って自分の意見を固める。② 周りの意見をしっかりと聞く。③ 自分の意見の「結論」から伝える。⇒「私はこう思います！」④ その意見の「根拠」を伝える。⇒「なぜなら～だから！」⑤ 自分の意見に対する他人の意見を問いかける。⇒「どう思いますか？」⑥ 疑問や反論に応える。⑦ 全員の意見を交えて、最善の結論を出す。
前回の改善計画に対する取組み結果	自分の意見を伝え、しっかりと周りの意見は聞くように努力したが、きちっとした根拠を示すことができず曖昧となってしまうので最善の結論を出すまでに至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		6	1		7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6	1		7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6	1		7
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	5			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 自治会や管理組合共に地域の拠点となれるようにサークル活動等も行なっています。また、地域の自治会の一員として自治会だよりを地域の方々と「毎月発行」をしています。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 事業所のあり方について自分たちの意見に自信がなく根拠を伝えることもできないので意見をまとめて自分の考えを伝えるところまでには至っていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 事業所がよくなるように職員一人一人意見をもち話し合っていくように事前に会議資料を配り、各職員でできるだけ早めに読み込んで、テーマの背景を頭に入れておき、細部について予め調べておき、自分の意見をとりあえずまとめておき会議に参加していく共に参加が難しい場合は意見等をメモにして参加職員へ提出していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月8日(17:00~17:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 日高 吉村 花島 辻内 小柳 久下 上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	人	人	7人

前回の改善計画	利用者様本人のリスク等を把握しアセスメントやひやりハットで検証し事故防止に取り組んでいく
前回の改善計画に対する取組み結果	ラインワーク・申し送り・会議等でご利用者様の状態変化を共有し、ひやりハット・事故報告書を活用し情報共有・対策の検討し事故防止に努めました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		7			7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		7			7
③	地域連絡会に参加していますか		7			7
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		7			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 内部・外部研修の機会があり、研修に参加出来ています。また、会議にて研修で学んだことを発表報告をして職員間で共有を図っています。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 会議は全員が揃って行なう事が難しく職員間で共有することができていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 研修に行った職員は研修でもらったレジメや資料などラインワークを活用していつでも閲覧できるようにして職員間で共有を図っていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月8日(17:00~17:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 日高 吉村 花島 辻内 小柳 久下 上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	1人	人	7人

前回の改善計画	介護に関する情報やご本人の疾病など十分にプライバシーを守り個々に合わせた構造化を行なっていく
前回の改善計画に対する取組み結果	一人ひとりの人格を尊重しプライバシーに配慮して支援を行なえたと考えています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	3	4			7
②	虐待は行われていない	4	3			7
③	プライバシーが守られている	1	5	1		7
④	必要な方に成年後見制度を活用している		7			7
⑤	適正な個人情報の管理ができている		6	1		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 身体拘束や虐待は行われていない。ご利用者様の訴えに対して傾聴して支援ができている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること せまい空間のため電話や来客時の会話からプライバシーが利用者様に入ってしまう。通いの人数が6名で他の利用者様が休むと来ている方々気にかけて理由を聞かれることもあり職員によって回答にばらつきがでてしまっている。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) プライバシーや個人情報についての研修を開催していく。会議等で職員間の共通認識を図っていく。
---------------	---

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 翠耀会	代表者	理事長 津川恵美子	法人・ 事業所 の特徴	本体事業所（小規模多機能型居宅介護グリーンヒル八千代台）とサテライト型事業所（小規模多機能型居宅介護サテライトグリーンヒル勝田台）一体的なサービスを提供することでご利用される方々が安心して身近な地域でサービスを利用し、馴染みの地域や関係を断ち切らず生活を送れるように支援していきたいと考えています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 サテライトグリーンヒル 勝田台	管理者	日高 和枝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	0人	1人	1人	0人	2人	1人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	各会議で課題として出たものは、会議録に色分けし、意見や評価が解りやすく提示できるようにしていく共に、職員同士で声掛けしながらチームワークを大切にしながら取り組んでいく。	各会議で課題として出たものに対して、議事録に色分けし、意見・評価を解りやすく提示することが出来なかった。職員同士で声掛けし合いながら取り組むことができた。	取組みが利用者の情報共有などの場面で感じ取る事が出来るが、改善計画に全員の意見が具体的に達成可能な計画として取り組まれているか、推測できない。利用者の視点を大切に、所内だけではなく地域と連携し、支え合える事業所であって欲しい。	ケアプランに地域との関わりを取り入れ、サービスを提供する。状態変化が見られたときは医療機関と連携、利用者の支援につなげる。職員同士声掛けを行ない、チームワークを大切にケアに取り組んでいく。
B. 事業所のしつらえ・環境	今までの季節感を取り入れた飾り付けを行なってともに、ご利用者・来客者に対して、居心地の良い明るく、気持ちの良い環境作りを行なっていく。	玄関内、室内のしつらえは季節感を感じて頂けるよう、飾り付けを行なう事が出来たと思います。今後もご利用者・来客者にとって、居心地の良い環境を作っていきたいと思っています。	玄関ドアをカラフル、採光ガラスを取り付ける工夫により、外観が明るく入りやすさを感じる。事業所として狭い環境の中、季節感などにも工夫され、居心地の良い環境づくりに努められている。	継続して季節感を取り入れた飾り付けを行っていくとともに、ご利用者、来客者に対して、居心地の良い明るい、気持ちのよい環境づくりを行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域との関わりは一長一短では難しい部分もあるが、困り事や相談ごとがあった場合は地域包括支援センターと連携を取りながら行っていける体制づくりをしていく。	困難ケース等、地域包括支援センターに相談し、アドバイスをいただいて支援する事につなげていくことが出来ました。今後も地域包括支援センターと連携を図っていく体制づくりを構築していきたいと思っています。	自治会等の事業、イベントに積極的に参加して、地域の福祉・介護の活動拠点として、事業所の認知度を得る様に努めている。事業所は環境的に相談に難があり関係機関と連携が取れる仕組みを活用してはどうか。	サンコーボゴミ拾い・もちつき大会や地域主催イベントに参加し、地域住民と顔なじみの関係に慣れるようにしていく。利用者の困りごとや相談があった場合は地域包括支援センターと連携を取り関わっていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ご利用者の暮らしの支援として自治会に参加し、緊急の協力関係を構築して体制を整えていく。又、自治会・管理組合・民生委員・社会福祉協議会・地域包括支援センターと協働してマンション住人の高齢者の課題、住民の心配な方にも声掛け出来る仕組み作りをしていく。	ご利用者と一緒に地域主催の夏祭り・防災訓練等に参加しています。「無事です」黄色いタオルは地域の方々・地域包括支援センターと一緒に取り組みを行う事が出来ました。推進会議等で情報を共有して協力していきたいと思っています。	外出・地域行事や事業所取組みのサークル・レコードコンサート等は恒例化し、利用者と地域の人達が接し楽しみを共有する場になっている。利用者は地域で在宅支援を継続、地域支援も多いので、関係機関と連携し、地域共生社会の一端を担ってほしい。	外出・地域行事に参加し、地域の方々と接し楽しみを共有していく。ご利用者の暮らしの支援として自治会に参加し、緊急時の協力関係を構築して体制を整えていくため、地域の方々や勝田台公民館などと協力して料理教室や体操教室などおこなうなどして地域共生社会の一端を担っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事例報告にとどまらず、気になる点等委員の方々と一緒に話し合い、地域包括支援センターや関係機関と共に活動していくことにより住みやすい町づくりに取り組んでいく。	運営推進会議にて事業所の取り組みなどを報告しています。また地域課題を共有することが出来、地域包括支援センター等関係機関と協働していきたいと思っています。	会議で提案、議論された課題を事業計画に意欲的に取り入れ、活動報告により取り組みを把握しているが、報告に留まっており会議の内容に工夫があるともっと充実し、利用者を通して地域課題を検討することで「住みやすい勝田台」を目指せると思う。	活動報告等を行ない、事業所の取り組みを報告していく。推進会議で提案、議論された利用者課題や地域課題を委員の方々と一緒に話し合い、地域包括支援センターや関係機関と協働して「住みやすい勝田台」につなげていくように取り組んでいく。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の防災訓練への参加。事業所の防災計画を開示していく共に、引き続き防災訓練へ管理組合及び管理事務所に参加していただき実施していく。自治会や情報をもっている地域包括支援センターとの日頃の連携を大切にしながら災害時等に生かせる様意識を高めていく。	事業所の防災訓練に管理事務所の方と一緒に実施することが出来ました。今後も地域の防災訓練・避難訓練に参加し、防災に対する意識を高めていきたいと思っています。	地域の防災訓練に毎年参加、事業所防災訓練は管理事務所の協力を得て実施し、防災意識を高めている。事業所の狭さや職員体制もあり防災計画が関係者に提示があると協力が得やすい。防災・災害対策は関係機関等と連携を大切に、事業所が担う役割を職員間で共有し発信できると良い。	地域の防災訓練・避難訓練、講演会に参加して、意識を高めていく。福祉避難所としてのマニュアル等作成を市と協力し行っていく、引き続き防災訓練へ管理組合及び管理事務所に参加して頂き実施する。自治会や地域包括支援センターと連携を大切にしながら災害時等に活かせる取り組みを行っていく。